行政視察報告

視察日時	令和６年１０月９日（水）
視察場所	鹿児島県鹿児島市
視察項目	防災・減災の取組について
視 察 者	常任委員会委員７名　同行当局職員１名　事務局職員１名
視察概要	鹿児島市は、平成５年８月６日に死者行方不明者 100 人もの人的被害のあった大水害を経験している。 鹿児島市では、自主防災組織の結成の際に 10 万円の補助があり、５年経過すると７万円が補助される。防災に係る活動を実施する場合に備蓄品、講師謝金等に上限２万円を年２回補助する。結成団体 630 団体のうち利用が 106 団体と活動が低調の団体も多いようだった。しかし、支援は潤沢に感じた。 以下、具体的な取組について記載する。 １　自主防災組織への支援 (1) 地域安心・安全指導員による結成や活動支援 (2) 自主防災組織が整備する防災資機材や防災活動に係る経費を助成。 (3) 地区防災計画の作成支援。 (4) 地区防災研修会を令和６年５月 15 日～29 日で 13 回行った。 ２　防災教育について (1) 火山防災教育（桜島火災対策ワークショップ・火災防災講話）を行っている。 (2)「小学校へ専門家派遣授業」：専門家による講話をする。 (3) 市政出前トーク：小中学生、大学生向けの防災教育を行う。 ３　桜島火山爆発総合防災訓練（住民避難訓練） ４　避難所の充実 福祉避難所で、特別支援学校全校と協定を結んで、大規模災害時に在校生とその家族が避難できるようにしている。 ５　消防団の活動 (1) ポンプ操法大会・放水競技会・水防工法基本訓練・警防技能基礎訓練。 (2) 技能別消防団の設置 現場活動アドバイザー、重機隊、山林活動支援隊、水難活動支援隊、ドローン隊、広報チーム
本市に生かせる視点	鹿児島市は、人口約 60 万人の都市。本市とは比較はできませんが、障がい者に対する避難訓練の在り方や企業を巻き込んだ技能別消防団などは、今後、米沢市でも、進めていくことが必要と思いました。

お疲れさまでした。